

お米の農家さんにありがとう

ぼくは小さいころからお米が大好きです。

ぼくのお母さんから聞いた話では、ぼくは赤ちゃんのころ、リにゃ食をわり食べなかったそうです。でもふたつかたさのごはんになったときから、すぐにお米を食べるようになったそうです。

今でもぼくはさらにごはんばかりを食べてしまい、お米がさいこまで食べないときがあります。お米がきらいなわけではなくて、お米が大好きで生にたべちゃいます。ぼくのおじいちゃんのお兄ちゃんの家ではお米をつくっています。ぼくの家の目の前にも田んぼがあります。

ぼくはお米をゆがくときには、おんちゃんにきかしのせてもらったことがあります。おいしいと思いましたが、お米がどんとどんとかりとらえていくのを見るのは面白かったです。

今後は秋にゆがくするお米が大きくなるのを家のまどから見えてくみにしています。お米がてりば一年中お世話することがあって大変だなと思っています。でもそのおかげでぼくたちはとてもおいしい

米を食べることが出来ます。ありがとうございます。これからもぼくはおいしいお米をたべます。